



平成 29 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 ジェコス株式会社
代表者名 代表取締役社長 馬越 学
(コード：9991、東証第 1 部)
問合せ先 総務部長 加納 始
(TEL. 03-3660-0776)

『ジェコスグループ 10 年 VISION』の策定について

当社グループはこの度、今後 10 年間の事業運営の指針となる、『ジェコスグループ 10 年 VISION』を策定しましたので、お知らせいたします。

当社は来年、創立 50 周年を迎えます。これに先立ち、今後目指していく新たな企業像をステークホルダーの皆様を示すことが必要と考え、このビジョンを策定いたしました。今後は当社グループ一体となってビジョンの実現に取り組み、成長を持続することによって、企業価値のさらなる向上に努めてまいりたいと考えております。

1. コンセプト

**「安心、安全な社会の建設に貢献し
働きがいの向上を追求する企業」へ**

ジェコスグループは、永年にわたって社会インフラ整備に貢献する中で、特に重仮設事業を中心に総合技術力を蓄積し、トップランナーであると自負しています。

この技術をさらに進化させ、我が国の課題である社会インフラの再構築に経営資源を傾注し、安心、安全な社会の建設に貢献するとともに、先端技術の導入等により、働きがいの向上をたゆまず追求する企業となることを目指します。

2. 事業環境認識と、目指す企業の姿

当社が属する建設業界において、建設需要は当面、堅調であるものと見ております。その中で、都市部では再開発、建替え需要の増が見込まれ、地下の活用がさらに拡大するものと想定されます。また、老朽化したインフラの更新需要は年を追って増加しております。当社が持続的に成長するためには、需要増加が期待されるこれらの分野において事業領域を拡大する必要があります。

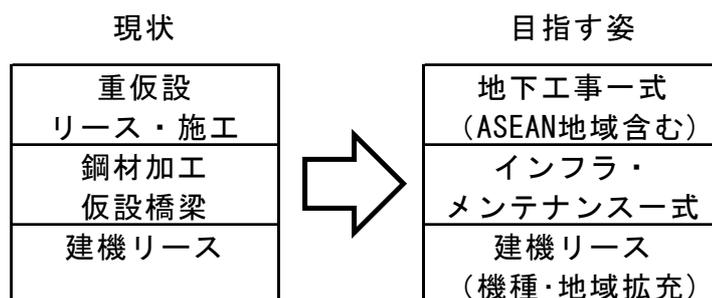
社会の状況に目を転じますと、労働人口減少と高齢化がさらに進展する一方、AI、ロボット等の先進技術は飛躍的に進化することが予想され、これらの流れにいち早く対応することが、企業の存立を左右する鍵になるものと考えております。

このような認識のもと、当社グループは以下のような企業の姿を目指してまいります。

- 「重仮設リース・施工の企業」から
「地下工事とインフラのトータル・ソリューション企業」への脱皮

技術・商材・サービスにより差別化を進め、重仮設、鋼材加工といった既存事業をベースに地下工事、インフラ・メンテナンス全般に事業領域を拡大し、これらの分野でワンストップ受注による主体性のある事業運営を行うことにより、プレゼンスの向上を図ります。

(事業のイメージ)



- 当社が中心となり、提携・協力企業とのシナジーを発揮する、
ネットワーク・コーディネーション

JFEグループ各社との関係のみならず、周辺事業を手掛ける企業との「横」の連携、施工や加工を行う協力企業との「縦」の連携によるコラボレーションを強化し、シナジーを発揮して付加価値向上を進め、各事業分野の収益性と株主還元を、より高めてまいります。

- 先端技術を積極的に導入した、先進的オペレーションの追求

人手頼みの現状をブレークスルーし、業務効率を高めて事業基盤を強化するとともに、社員や協力企業の方々が働きやすい環境を整えてまいります。

これら、目指す企業の姿を実現するにあたり、収益性を確保しながら持続的成長を図り、将来的には売上規模倍増水準を目指してまいります。

以 上